

《基礎科目》

科目名	社会福祉援助論				
担当者氏名	一山 幸子				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】 文化祭や介護の日イベントの行事に協力、準備、実施する。担任の個別面談や現場職員の施設説明会、就職フェアの参加によって各自の進路を定める。学生支援室への内定報告書の提出、介護福祉士資格申請手続きを責任を持って実施する。「人間の尊厳と自立」「人間関係とコミュニケーション」の国家試験対策学習を進める。この授業は、社会福祉士、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。

《授業の到達目標》

文化祭や介護の日イベントの行事に協力、準備、実施することができる。担任による個別面談や現場職員による施設説明会、就職フェア、介護フェスタ等の参加によって各自の進路を定めることができる。学生支援室への内定報告書の提出、介護福祉士資格申請手続きを責任を持って実施することができる。「人間の尊厳と自立」「人間関係とコミュニケーション」の国家試験対策学習を進めることができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60 % レポート 20 %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 20 % その他 () %

《教科書》

見て覚える！介護福祉士国試ナビ2021、中央法規配布プリント

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポート課題は、添削して返します。

《成績評価基準》

文化祭や介護の日イベントの行事に協力、準備、実施することができる。担任による個別面談や現場職員による施設説明会、就職フェアの参加によって各自の進路を定めることができる。学生支援室への内定報告書の提出、介護福祉士資格申請手続きを責任を持って実施することができる。全国介護福祉士「学力評価試験」で6割以上の得点を目指す。

《参考図書》

就職活動ハンドブック2021、西日本短期大学進路指導部

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	履修指導、文化祭企画、進路アンケート	予習：シラバスを読み履修科目を確認する(2時間) 復習：各自の進路希望先を調べる(2時間)
2	文化祭企画・担任による個別面談	予習：各自の進路希望先を調べる・履歴書を作成する(2時間) 復習：各自の進路希望先を調べる・履歴書を作成する(2時間)
3	文化祭企画・担任による個別面談	予習：各自の進路希望先を調べる・履歴書を作成する(2時間) 復習：各自の進路希望先を調べる・履歴書を作成する(2時間)
4	国家試験対策(人間の尊厳と自立)	予習：障害福祉の理念と人権の介護福祉士過去問題を予習する(2時間) 復習：障害福祉の理念と人権の介護福祉士過去問題を復習する(2時間)
5	国家試験対策(人間の尊厳と自立)	予習：成年後見制度とアドボカシーの介護福祉士過去問題を予習する(2時間) 復習：成年後見制度とアドボカシーの介護福祉士過去問題を復習する(2時間)
6	国家試験対策(人間の尊厳と自立)	予習：成年後見制度とアドボカシーの介護福祉士過去問題を予習する(2時間) 復習：成年後見制度とアドボカシーの介護福祉士過去問題を復習する(2時間)
7	福祉施設説明会：高齢者施設の現場(施設長より)	予習：高齢者施設の種類の復習する(2時間) 復習：高齢者施設の種類の復習する(2時間)
8	福祉施設説明会：障害者施設の現場(施設長より)	予習：障害児者施設の種類の復習する(2時間) 復習：障害児者施設の種類の復習する(2時間)
9	高齢者施設・障害者施設の現場	予習：福祉施設の種類の復習する(2時間) 復習：福祉施設の種類の復習する(2時間)
10	福岡介護フェスタ参加	予習：全国介護の日イベント内容を調べて予習する(2時間) 復習：福岡介護フェスタ及び本学介護フェスタイベント内容を考察する(2時間)
11	国家試験対策(人間関係とコミュニケーション)	予習：カウンセリング・面談技法の介護福祉士過去問題を予習する(2時間) 復習：カウンセリング・面談技法の介護福祉士過去問題を復習する(2時間)
12	国家試験対策(人間関係とコミュニケーション)	予習：パステック7原則の介護福祉士過去問題を予習する(2時間) 復習：パステック7原則の介護福祉士過去問題を復習する(2時間)
13	内定者向け離職防止セミナー：労働法出前講座	予習：労働法プリントを読んで予習する(2時間) 復習：労働法プリントを読んで復習する(2時間)
14	国家資格申請手続き、資格取得アンケート	予習：短大2年間で取得資格を記録する(2時間) 復習：国家資格申請手続き書類を作成する(2時間)
15	レポート作成	予習：2年間の学習を総復習し要点をまとめる(2時間) 復習：2年間の学習を総復習し要点を覚える(2時間)

《専門科目》

科目名	チームマネジメント論				
担当者氏名	中野 幹子、齋藤 直路、齋藤 洋樹				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
介護の実践をマネジメントできるようになるため、組織の運営管理や人材育成や管理方法を学ぶ。またリーダーシップやフォロワーシップなどのチームの運営の管理方法を学ぶことができるように、介護の現場の管理を行っている方を招き、実践的な理解ができるような授業内容とする。

《教科書》

参考図書とパワーポイントのプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期末試験とレポート提出をフィードバックする。

《授業の到達目標》

1. チームにおけるコミュニケーションを理解できる。
2. 組織の運営管理を説明できる。
3. 人材育成・人材活用を理解できる。
4. リーダーシップとフォロアーズを説明できる。

《成績評価基準》

筆記試験、レポート提出、授業への取り組み姿勢を総合的に評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 70% レポート 20%
授業の取組 10%

《参考図書》

「現場で役立つ 介護・福祉リーダーのためのチームマネジメント」中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：チームの人間の関係性を理解する。(1時間) 復習：チームの関係性(1時間)
2	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：自分のチームをアセスメントする。(1時間) 復習：チームでのコミュニケーションの振り返り。(1時間)
3	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：人を育てるリーダーの条件とコミュニケーション術(1時間) 復習：リーダーとしてのコミュニケーション(1時間)
4	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：部下や同僚の学びを支えるコミュニケーション(1時間) 復習：部下や同僚の学びを支えるコミュニケーションの振り返り(1時間)
5	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：モチベーションに働きかけるコミュニケーション振り(1時間) 復習：モチベーションに働きかけるコミュニケーション振り(1時間)
6	人間関係とコミュニケーションの基礎	予習：対立や危機を乗り越え学び続けるチームをつくるコミュニケーション(1時間) 復習：チームをつくるコミュニケーション振る。(1時間)
7	チームマネジメントの基礎	予習：チームマネジメント論の基礎(1時間) 復習：各種理論の振り返り(1時間)
8	チームマネジメントの基礎	予習：キャリア形成を支援する。(1時間) 復習：振り返り(1時間)
9	チームマネジメントの基礎	予習：自分にあったリーダーシップを身につける。(1時間) 復習：振り返り(1時間)
10	チームマネジメントの基礎	予習：意見が対立するチームを効果的にまとめる。(1時間) 復習：振り返り(1時間)
11	チームマネジメントの基礎	予習：業務を改善し、実践力を高める。(1時間) 復習：振り返り(1時間)
12	チームマネジメントの基礎	予習：チームの視点で実践現場をスーパーバイズする。(1時間) 復習：振り返り(1時間)
13	チームマネジメントの基礎	予習：住民の力を呼び込み、地域で暮らす。(1時間) 復習：振り返り(1時間)
14	チームマネジメントの基礎	予習：住民の力を呼び込み、地域で暮らす。(1時間) 復習：振り返り(1時間)
15	まとめ	予習：総復習(1時間) 復習：振り返り(1時間)

《専門科目》

科目名	発達と老化の理解				
担当者氏名	城戸 由香里				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

授業のはじめに、前回の要点の小テストとその答え合わせを行う。当該授業では、予習で学生が熟読してきた教科書の内容にそって、配布プリントにて、要点、理解の確認を行う。さらに理解を深めるため、様々な例を用い、必要に応じて、生徒間でグループワークを行う。授業の最後に、授業開始時の小テストのプリントを提出する。

《授業の到達目標》

発達及び生涯発達の考え方を理解し、説明できる。発達にはどのようなパターンがあるか、またどのような要因が影響するかを具体的に述べる事ができる。発達理論について、ピアジェ、エリクソン、バルテス、ハヴィガーストそれぞれの概念が列記できる。高齢者の発達と発達課題について、例を挙げ説明できる。老化のともなう様々な心の変化とその適応のかたちについて、列挙できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% レポート 10%
 課題 なし 実技 なし
 授業の取組 10%
 その他 () なし

《教科書》

介護福祉士養成講座12

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

15回目の総括・確認テスト前に、各回の小テストでの間違いを正し、学生の理解の不十分なところを補足説明する。

《成績評価基準》

毎回の小テスト点数、及び、授業への積極的参加(発表など)を評価する。15回目の総括の確認テストにて、各項目のキーワードやその意味の確認を行い(90点)、総合的な理解は記述式の回答により評価(10点)する。

《参考図書》

配布プリント

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	成長と発達の考え方	教科書p1～6を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
2	成長と発達原則・法則	教科書p7～9を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
3	成長・発達に影響する要因	教科書p10～17を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
4	発達理論	教科書p20～23を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
5	発達段階と発達課題	教科書p24～34を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
6	身体的機能の成長と発達	教科書p35～46を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
7	心理的機能の発達	教科書p47～54を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
8	社会的機能の発達	教科書p55～68を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
9	老年期の定義	教科書p70～74を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
10	老化とは	教科書p75～79を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
11	老年期の発達課題	教科書p80～97を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
12	老化に伴う心理的变化と生活への影響	教科書p143～163を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
13	老化に伴う社会的変化と生活への影響	教科書p164～185を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
14	健康長寿に向けての健康	教科書p188～195を熟読(2時間)・次回の使用テストの準備(2時間)
15	総括・確認テスト	1～14の総復習(2時間)・テストの振り返り(2時間)

《専門科目》

科目名	介護の基本				
担当者氏名	折居 明日香、田邊 伸一、山本 恭大				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
介護福祉の専門職として、能力や知識の向上を目指し、介護の基本の総括を行う。

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の持続性を支援するための仕組みを理解し、基本的な知識を習得することができる。

介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての知識の統合化を図ることができる。

《成績評価基準》

定期試験で介護の基本の基礎知識について6割以上解答できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%
授業の取組 20%

《参考図書》

「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」
「介護福祉士国家試験模擬問題集」
共に中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：シラバスの確認。授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
2	総括(介護福祉士の基本となる理念)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
3	総括(介護福祉士の役割と機能)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
4	総括(介護福祉士の倫理)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
5	総括(自立へ向けた介護)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
6	総括(介護を必要とする人への理解)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
7	総括(介護が必要な人への生活を支えるしくみ)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
8	総括(協働する他職種の機能と役割)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
9	総括(安全の確保とリスクマネジメント)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
10	総括(介護従事者の安全)	予習：授業で配布されたプリントを再確認する。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
11	まとめ	予習：課題の実施。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
12	まとめ	予習：課題の実施。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
13	まとめ	予習：課題の実施。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
14	まとめ	予習：課題の実施。(2時間) 復習：今回の講義で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)
15	まとめ	予習：課題の実施。(2時間) 復習：講義全体を振り返り、講義内容を整理し、ノートにまとめる。(2時間)

《専門科目》

科目名	障害児支援論				
担当者氏名	後藤 宏				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】障がい及び障がい児や家族に視点を当て、介護福祉の基本理念や地域を基盤とした生活支援のしくみを理解し、高い倫理性を保持する介護福祉専門職としての能力や態度を養うことを目指す。特別支援教育の推進やインクルーシブ教育の構築に向けた社会の動き・支援対象者が望む支援過程の展開・地域連携や多職種協働による支援の実際等、福祉と教育の視点を関連付けて習得できるようにする。

《授業の到達目標》

- ・障がいや障がい児について、国内外の福祉制度や法令・定義等に基づく説明や学校教育上の分類ができる。
- ・障がい児に対する福祉、教育、人権・権利擁護・差別解消等に関する制度・政策の概要を述べるができる。
- ・障がい児や家族の生きづらさ・地域における課題等を挙げ、支援対象者が望む生活に必要な支援過程を示すことができる。
- ・ICFの視点に基づく模擬事例検討を行うことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 10%
 課題 10% 実技 10%
 授業の取組 10%
 その他 () %

《教科書》

「なんでバイバイするとやか?」, ごとうひろし(文)/なすまさひこ(絵), 石風社
 併せて、関連資料及び視聴覚教材を活用する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回振り返りシートに自己分析による達成度、質問・意見・感想等を記入・提出させ、その後の授業内容やフィードバックに活用する。提出レポート・課題等は、次回以降の授業時にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

授業の到達目標に掲げる4項目について、定期試験結果による判定に加え、レポート・課題の提出内容、実技(演習を含む)及び授業への取組、授業後の振り返りシートによる自己分析等により、総合的に評価する。

《参考図書》

「見て覚える!介護福祉士国試ナビ」, 中央法規出版株式会社
 その他適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション (授業の概要・計画等)	予習:教科書を参照し、シラバスを確認しておくこと(30分) 復習:教科書・シラバス・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
2	障がい・障がい児の概念と分類 (法令・定義)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
3	障がい・障がい児の概念と分類 (教育的視点)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
4	障がい児に対する制度・政策 (国際的動向)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
5	障がい児に対する制度・政策 (福祉・人権等)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
6	障がい児に対する制度・政策 (学校教育)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
7	障がい児や家族の生活と支援 (知的障害)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
8	障がい児や家族の生活と支援 (視覚障害)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
9	障がい児や家族の生活と支援 (聴覚障害)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
10	障がい児や家族の生活と支援 (肢体不自由)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
11	障がい児や家族の生活と支援 (病弱等)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
12	障がい児や家族の生活と支援 (発達障害)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
13	模擬事例による支援過程の展開 (ICFの視点)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
14	模擬事例による支援過程の展開 (多職種連携)	予習:教科書及び参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)
15	まとめ(授業全体の振り返りと学習内容の確認)	予習:教科書・配布資料・参考書等の関連部分を参照し、確認しておくこと(30分) 復習:教科書・参考書・配布資料等で授業内容の振り返りと再確認を行う(30分)

《専門科目》

科目名	家政学演習				
担当者氏名	伊勢木 紀三子				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】
 家庭生活の意義を学び、家族経営、即ち、家庭や施設における自己表現に繋がる家庭生活の共同、経営のありかたを考え、生活習慣病の知識等を身に着ける英sんの。
 実習を通し、自立支援の視点から、食事作りの実践が出来る能力を身に着ける。2コマ連続で講義、演習を行う。

《教科書》

なし
 必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

配布プリントは今後の資料となるよう、各自ファイルすること。
 提出レポートの返却はしません。

《授業の到達目標》

いかなる状況において、その人の自立を目指し、滞在能力を維持できるよう、介護者としての安全、適切な家事技術と知識について、学習することを目的とする。
 介護者の立場に寄り添った支援が行えるよう、生活習慣病の知識や衛生管理、調理技術の体験を交えながら、現場で実践に役立てる能力を身に着けることを目的とする。

《成績評価基準》

授業の取組、実技はうまくできなくても、取り組む姿勢をみます。レポートは、内容をすべて記入し、提出期日をまもってもらいます。この点も取組の評価対象に含まれます。

《成績評価の方法》

筆記試験 0% レポート 40%
 課題 0% 実技 40%
 授業の取組 20%
 その他 (0) %

《参考図書》

介護福祉士養成講座6 生活支援技術 (中央法規)
 やわらかく、飲み込みやすい高齢者の食事メニュー(ナツメ社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講義・自立に向けた家事の介護(家事、調理)	高齢者介護の問題や実態等の報道に耳を傾ける(30分)配布プリントの再読(30分)
2	講義・自立に向けた家事の介護(洗濯)	高齢者介護の問題や実態等の報道に耳を傾ける(30分)配布プリントの再読(30分)
3	講義・自立に向けた家事の介護(掃除、整理)	栄養素、生活習慣病とは何か?ネット検索(30分)、配布プリントの再読(30分)
4	講義・自立に向けた家事の介護(お金の管理)	栄養素、生活習慣病とは何か?ネット検索(30分)、配布プリントの再読(30分)
5	講義・高齢者に向けた食事作りの考え方	高齢者や生活習慣病予防の食事について、ネット検索(30分)、配布プリントの再読(30分)
6	講義・生活習慣病の症例別、調理例	高齢者や生活習慣病予防の食事について、ネット検索(30分)、配布プリントの再読(30分)
7	実習・衛生管理 付着菌検査 食中毒注意点	衛生管理のプリント再読(30分)付着菌スケッチ(30分)
8	実習・高齢者の保健食実習(計量のしかた)	高齢者の嗜好を意識する(30分)
9	実習・高齢者の保健食実習(昼ごはん献立)	自宅での調理復習(90分)
10	実習・高齢者の保健食実習(肉がメイン)	たんぱく質の必要性の意識、ネット検索(30分)
11	実習・高齢者の保健食実習(肉がメイン)	自宅での調理復習(90分)
12	実習・高齢者の保健食実習(魚がメイン)	魚の栄養素等の意識、ネット検索(30分)
13	実習・高齢者の保健食実習(魚がメイン)	自宅での調理復習(90分)
14	実習・高齢者の保健食実習(やわらか食)	咀嚼困難な利用者の意識(30分)
15	実習・高齢者の保健食実習(間食・消毒)	自宅での調理復習(90分)

《専門科目》

科目名	生活支援技術（総論）				
担当者氏名	川井 小百合、田中 優子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

介護福祉士としての専門的知識が確実なものになるよう、問題を解きながら実力をつけていく。介護福祉士の国家試験の合格に対する意欲が維持でき、留学生にとって国家試験が苦手意識にならないように、専門用語の意味や使い方、社会福祉制度の内容について、丁寧にわかりやすく説明するよう心掛ける。

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業での課題、まとめのミニテストは確認後、必要に応じて授業時に解説する。

《授業の到達目標》

これまでに学んだ授業内容をもとに重要なポイントを再確認し、より専門性の高い知識の習得を目指すことができる。

《成績評価基準》

まとめのテストや授業への取り組みにより評価する。

即戦力となる介護福祉士を目指して、根拠に基づいた知識を身につけることができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%
授業の取組 20%

《参考図書》

「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」
中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	模擬問題(生活支援技術)	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
2	"	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
3	"	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
4	"	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
5	"	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
6	1～5までのまとめ	予習: 1～5までの講義内容を再確認する(2時間) 復習: まとめの内容を再確認する(2時間)
7	模擬問題(こころとからだのしくみ)	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
8	"	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
9	"	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
10	"	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
11	7～10までのまとめ	予習: 7～10までの講義内容を再確認する(2時間) 復習: まとめの内容を再確認する(2時間)
12	模擬問題(総合問題)	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
13	"	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
14	"	予習: 配布プリントを読み、わからない言葉の意味を調べる(2時間) 復習: 講義内容について復習する(2時間)
15	総括	予習: 予習: すべての講義内容を再確認する(2時間) 復習: まとめの内容を再確認する(2時間)

《専門科目》

科目名	介護過程 B				
担当者氏名	川井 小百合、中野 幹子、一山 幸子、折居 明日香、田邊 伸一、山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

介護実習の集大成である介護過程報告会での発表のため、実習()で担当した利用者の介護過程(「利用者像」「アセスメント」「介護計画」)を修正し、報告会に向けて個別指導を受けながら準備を進めていきます。事例研究・発表の経験となる良い機会です。自分を高める姿勢で修正を重ねて仕上げてください。

《授業の到達目標》

実習()で担当した利用者の情報を整理して「利用者像」に記述できる
 利用者の解決すべき課題を明確にして、解釈・関連づけ・統合化した内容を「アセスメント」に記述できる
 利用者の望む生活を目指した目標、個別性に応じた具体的な介護方法、実施・評価・考察を「介護計画」に記述できる

《成績評価の方法》

課題 80%
 授業の取組 20%

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。

《成績評価基準》

介護過程報告会にむけて、記述指導における受講態度・報告会での発表内容について総合的に評価する。

《参考図書》

「介護過程」
 中央法規出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	知識と技術の統合： 実習()事後指導	予習：実習()の記録物を提出できるように準備する(30分) 復習：記録物の内容について再確認する(30分)
2	実習()事後指導	予習：実習()の記録物を提出できるように準備する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
3	介護実践の科学的探究： 記述指導	予習：実習()の記録物を見直し、修正点を確認する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
4	実習()介護過程の事例 研究・記述指導	予習：実習()の記録物を見直し、修正点を確認する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
5	実習()介護過程の事例 研究・記述指導	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
6	実習()介護過程の事例 研究・記述指導	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
7	実習()介護過程の事例 研究・記述指導	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
8	実習()介護過程の事例 研究・記述指導	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
9	実習()介護過程の事例 研究・記述指導	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
10	実習()介護過程報告会 準備	予習：報告会の資料作成準備をする(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
11	介護過程の展開の理解： 介護過程報告会	予習：報告会に備えて発表の練習、資料を再確認する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
12	介護過程報告会	予習：報告会に備えて発表の練習、資料を再確認する(30分) 復習：講義内容について復習し、記述指導を受けた部分の再確認をする(30分)
13	介護過程報告会	予習：報告会に備えて発表の練習、資料を再確認する(30分) 復習：発表内容・資料を振り返る(30分)
14	介護過程報告会	予習：報告会に備えて発表の練習、資料を再確認する(30分) 復習：発表内容・資料を振り返る(30分)
15	総括	予習：発表内容・資料を振り返る(30分) 復習：まとめの内容を再確認する(30分)

《専門科目》

科目名	医療的ケアC				
担当者氏名	小車 淑子、古賀 啓之				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。			

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

前半は、喀痰吸引が安全・適確に実施できるよう、観察項目や留意点を学びながら演習する。
 口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内の痰の吸引について、4項目の演習を5回ずつ実施したうえで、実技試験を実施する。
 後半は、医学関連領域の知識を復習する。

《教科書》

MINERUVA福祉資格テキスト医療的ケア 竹宮敏子監修
 ミレガア書房
 介護福祉士国家試験模擬問題集2022 中央法規

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

演習時レポートを配布し、解説する。

《授業の到達目標》

痰の吸引に必要な器具の取り扱いと清潔操作を理解し、実施することができる。
 痰の吸引について、必要物品の準備・実施・観察・報告・片付けが適確に実施できる。
 痰の吸引を受ける要介護者や家族の心理を考え、コミュニケーションをとることができる。
 医療関連領域に関する知識について、理解し説明できる。

《成績評価基準》

実技試験の受験資格は、口腔・鼻腔内吸引（通常手順・非侵襲的人工呼吸器）、気管カニューレ内吸引（通常手順・人工呼吸器）の4項目について、評価表に沿い15回ずつの演習を実施し、全項目の評価がAとなることを必要とする。
 単位認定は、実技試験・筆記試験ともに60%以上に達していることを必要とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
 実技 50%
 授業の取組（服装・忘れ物・私語・携帯等）減点

《参考図書》

介護福祉士国家試験過去問題集

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 痰の吸引	MINERUVA教科書 p 92 ~ 99 (2時間) ・ 配布プリント (1時間)
2	鼻腔・口腔内吸引必要物品・手順留意点実施	MINERUVA教科書 p 118 ~ 134 (2時間) ・ 配布プリント (1時間)
3	鼻腔・口腔内吸引(通常手順)観察実施	MINERUVA教科書 p 134 ~ 136 (2時間) ・ 配布プリント (1時間)
4	鼻腔・口腔内吸引(非侵襲人工呼吸器)	MINERUVA教科書 p 100 ~ 106 (2時間) ・ 配布プリント (1時間)
5	鼻腔・口腔内吸引(非侵襲人工呼吸器)	MINERUVA教科書 p 100 ~ 106 (2時間) ・ 配布プリント (1時間)
6	清潔操作・気管内吸引(通常手順)	MINERUVA教科書 p 136 ~ 144 (2時間) ・ 配布プリント (1時間)
7	気管内吸引(通常・人工呼吸器)	MINERUVA教科書 p 136 ~ 144 (2時間) ・ 配布プリント (1時間)
8	気管内吸引(人工呼吸器)	MINERUVA教科書 p 136 ~ 144 (2時間) ・ 配布プリント (1時間)
9	実技試験	MINERUVA教科書 p 118 ~ 144 (2時間) ・ 配布プリント (1時間)
10	講義：医療関連領域 演習：実技試験	中央法規模擬問題集2022(こころとからだのしくみ2時間) ・ 配布プリント (1時間)
11	①講義：人体構造疾病 ②講義：人体構造疾病	中央法規模擬問題集2022(こころとからだ2時間) ・ 配布プリント (1時間) 中央法規模擬問題集2022(こころとからだ2時間) ・ 配布プリント (1時間)
12	③講義：人体構造疾病 ④講義：人体構造疾病	中央法規模擬問題集2022(こころとからだ2時間) ・ 配布プリント (1時間) 中央法規模擬問題集2022(こころとからだ2時間) ・ 配布プリント (1時間)
13	⑤講義：発達と老化 ⑥講義：発達と老化	中央法規模擬問題集2022(発達と老化の理解2時間) ・ 配布プリント (1時間) 中央法規模擬問題集2022(発達と老化の理解2時間) ・ 配布プリント (1時間)
14	⑦講義：発達と老化 ⑧講義：医療的ケア	中央法規模擬問題集2022(発達と老化の理解2時間) ・ 配布プリント (1時間) 中央法規模擬問題集2022(医療的ケア2時間) ・ 配布プリント (1時間)
15	⑨講義：医療的ケア ⑩講義：まとめ	中央法規模擬問題集2022(医療的ケア2時間) ・ 配布プリント (1時間) 中央法規模擬問題集2022(こころとからだ・発達と老化・医療的ケア3時間)

《専門科目》

科目名	国家試験特講 A				
担当者氏名	一山 幸子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身につけている。				

《授業の概要》

【本学独自の選択科目】

医療的ケア、社会の理解、障害の理解、人間の尊厳と自立、人間関係とコミュニケーションの過去問題、模擬問題を解く。予習・復習をしっかりと行い、本番と同じ気持ちで真剣に問題を解く。そして授業中の解説をよく聞いて理解しながら繰り返し問題を解き、間違えた問題を見直し、確実に正答できるようにしていく。

《授業の到達目標》

介護福祉士国家試験に向けて、医療的ケア、社会の理解、障害の理解、人間の尊厳と自立、人間関係とコミュニケーションの領域の過去問題や模擬問題を解き、7割以上正答することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 100 % レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 % その他 () %

《教科書》

詳解2023年版 介護福祉士 過去5年問題集 成美堂出版
 見て覚える！介護福祉士国家試験ナビ2022

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

過去問題、模擬問題、予想問題を解いた後に解説をしますので、自己採点・自己添削をして、間違えた所をしっかりと復習していきましょう。そして3回以上同じ問題を解いて、7割以上正答できるようになりましょう。

《成績評価基準》

障害の理解、人間の尊厳と自立、人間関係とコミュニケーションの領域について、過去問題、模擬問題を解き、正答できるようになる。

《参考図書》

介護福祉士国家試験 模擬問題集2021、中央法規介護福祉士完全合格 過去&模擬問題集、翔泳社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	障害者自立支援法	予習：障害福祉施策の歴史をまとめる(30分) 復習：障害福祉施策の歴史を覚える(30分)
2	障害者自立支援法	予習：障害者総合支援法の給付・事業をまとめる(30分) 復習：障害者総合支援法の給付・事業を覚える(30分)
3	障害者自立支援法	予習：介護給付・訓練等給付費の種類をまとめる(30分) 復習：介護給付・訓練等給付費の種類を覚える(30分)
4	障害者自立支援法	予習：地域生活支援事業の種類と内容をまとめる(30分) 復習：地域生活支援事業の種類と内容を覚える(30分)
5	障害者自立支援法	予習：障害福祉の理念をまとめる(30分) 復習：障害福祉の理念を覚える(30分)
6	障害者自立支援法	予習：相談支援専門員等の専門職をまとめる(30分) 復習：相談支援専門員等の専門職を覚える(30分)
7	人間の尊厳と自立	予習：障害者差別解消法の要点をまとめる(30分) 復習：障害者差別解消法の要点を覚える(30分)
8	人間の尊厳と自立	予習：人間の尊厳と人権の歴史・重要用語をまとめる(30分) 復習：人間の尊厳と人権の歴史・重要用語を覚える(30分)
9	人間関係とコミュニケーション	予習：相談援助技術とチームアプローチの要点をまとめる(30分) 復習：相談援助技術とチームアプローチの要点を覚える(30分)
10	人間関係とコミュニケーション	予習：ソーシャルワークとスーパービジョンの要点をまとめる(30分) 復習：ソーシャルワークとスーパービジョンの要点を覚える(30分)
11	知的障害・発達障害	予習：知的障害・発達障害の医学的理解と支援方法をまとめる(30分) 復習：知的障害・発達障害の医学的理解と支援方法を覚える(30分)
12	障害の理解：疾病や障害	予習：疾病や障害について医学的側面の基本的内容をまとめる(30分) 復習：疾病や障害について医学的側面の基本的内容を覚える(30分)
13	障害の理解：疾病や障害	予習：疾病や障害について医学的側面の基本的内容をまとめる(30分) 復習：疾病や障害について医学的側面の基本的内容を覚える(30分)
14	障害の理解：疾病や障害	予習：疾病や障害について医学的側面の基本的内容をまとめる(30分) 復習：疾病や障害について医学的側面の基本的内容を覚える(30分)
15	まとめ	予習：これまでの総復習をする(30分) 復習：これまでの総復習をして覚える(30分)

《専門科目》

科目名	国家試験特講 B				
担当者氏名	中野 幹子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身につけている。				

《授業の概要》

【本学独自の選択科目】

介護福祉士国家試験過去問題集を解説することで、国家試験のイメージをつかむことができるよう指導する。

《教科書》

介護福祉士過去問題集

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回小テストによりフィードバックする。

《授業の到達目標》

介護福祉士国家試験対策を行い国家試験に合格できる。

《成績評価基準》

毎回の小テストで授業への取り組みのより評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%
授業への取り組み20%

《参考図書》

国試ナビ

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)	
1	人間と社会	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
2	人間と社会	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
3	人間と社会	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
4	こころとからだのしくみ	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
5	こころとからだのしくみ	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
6	こころとからだのしくみ	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
7	介護の領域	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
8	介護の領域	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
9	介護の領域	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
10	介護の領域	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
11	介護の領域	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
12	介護の領域	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
13	介護の領域	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
14	介護の領域	予習：過去問題の予習	復習：過去問題の復習
15	直前対策	予習：直前問題の予習	復習：直前問題の復習

《専門科目》

科目名	介護実習				
担当者氏名	中野 幹子、一山 幸子、川井 小百合、折居 明日香、田邊 伸一、山本 恭大、古賀 啓之				
授業方法	実習	単位・必選	10単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。				

《授業の概要》

【介護福祉士必修】

- ・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的能力を習得する。
- ・本人の望む生活の実現に向けて、他職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。

《教科書》

本学作成の「実習要綱」

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習課題については、実習巡回担当教員ごとに個別指導を実施する。

《授業の到達目標》

- ・利用者の能力の活用や発揮できるよう、自立を支援するための生活支援技術を習得する。
- ・受け持ち利用者に関する情報を収集し、生活上の問題となる状況に気づき、根拠に基づいた理由や生活課題に必要な介護を考え、記述することができる。
- ・利用者にとって望ましい目標を考え、具体的な介護方法を立案し実施する。また、評価、考察をすることができる。

《成績評価基準》

本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《成績評価の方法》

本学作成の実習評価表を用いて、実習指導者と巡回担当教員により評価を行う。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
2	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
3	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
4	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
5	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
6	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
7	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
8	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
9	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
10	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
11	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
12	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
13	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
14	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。
15	実習() 介護過程の実践的展開	予習：(本日の)実習目標を考え、実習スケジュールを確認する。 復習：自己を振り返り、実習の課題を明確にする。記録物の整理、記述、まとめ。

《専門科目》

科目名	障害児・者スポーツ論				
担当者氏名	高木 富士男				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】

障がい（身体・知的・精神）の原因と病態を知り、障がい特性に合わせた競技ルールの変更点と用具の工夫について学ぶ。また、障がいの特性を理解し、障がいに配慮した指導方法を考えていく。

障がいのある人とのコミュニケーションでは、配慮すべきポイントや具体的な聞き方や伝え方の工夫について学ぶ。

《授業の到達目標》

スポーツのインテグリティについて理解を深め、スポーツに関わる者のあるべき姿、行動ができ、障がい（身体・知的・精神）の特性、スポーツ指導上の留意点について説明できる。また、障がいの特性に応じたルール、道具、環境づくりが行えるようになる、障がいに配慮したスポーツの支援または指導が行えるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
レポート 10%
授業の取組 30%

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

筆記試験のフィードバックとして、講評及び解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

筆記試験（60%）、受講態度（30%）、レポート（10%）により評価する。

《参考図書》

障がい者のある人のスポーツ指導教本（初級・中級）2020年改訂カリキュラム対応（公財）日本障がい者スポーツ協会編/ぎょうせい

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	障がい者とスポーツ	興味のある障がい者スポーツについて調べる(2時間) ルール、用具等の整理(2時間)
2	障がい者スポーツに関する諸施策	日本パラスポーツ協会HPを検索し歴史と現状を調べる(2時間) 歴史と現状の整理(2時間)
3	福岡市障がい者スポーツ大会ボランティア	福岡市障がい者スポーツ協会HPを検索し事業内容を調べる(2時間) 福岡市の事業内容の整理(2時間)
4	障がい者スポーツの意義と理念	配布資料の熟読(2時間) 配布資料の整理(2時間)
5	インテグリティと指導者に求められる資質	配布資料の熟読(2時間) 配布資料の整理(2時間)
6	安全管理	配布資料の熟読(2時間) 配布資料の整理(2時間)
7	障がい各論 身体障がい	配布資料の熟読(2時間) 配布資料の整理(2時間)
8	障がい各論 身体障がい	配布資料の熟読(2時間) 配布資料の整理(2時間)
9	障がい各論 知的障がい	配布資料の熟読(2時間) 配布資料の整理(2時間)
10	障がい各論 精神障がい	配布資料の熟読(2時間) 配布資料の整理(2時間)
11	コミュニケーションスキルの基礎	配布資料の熟読(2時間) 配布資料の整理(2時間)
12	全国障害者スポーツ大会の概要	日本パラスポーツ協会HPを検索し全国障害者スポーツ大会について調べる(2時間) 全国障害者スポーツ大会概要の整理(2時間)
13	障がい者スポーツ推進の取り組み	日本パラスポーツ協会HPを検索しスポーツ推進について調べよう(2時間) 日本パラスポーツ協会のスポーツ推進の整理(2時間)
14	障がい者スポーツ推進の取り組み	福岡県障がい者スポーツ協会HPを検索しスポーツ推進について調べる(2時間) 福岡県障がい者スポーツ協会のスポーツ推進の整理(2時間)
15	まとめ	指導者像について考える(2時間) 指導者像をまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	障害児・者スポーツ演習				
担当者氏名	東高西 諤平				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

【介護福祉士選択】

障がい児・者及び高齢者が実際に行っているスポーツを体験し、各種目の特性と運動効果について理解を深める。また、実際のスポーツ場面において各障がいに応じて工夫している点について考える。視覚障がい者のスポーツはフロアバレーボール、肢体不自由者のスポーツは車いすバスケットボール、重度障がい者のスポーツはボッチャなどを行う。

《授業の到達目標》

1. 障がい者スポーツを楽しむことができる。
2. 障がい者スポーツのサポートができる。
3. 障がい者スポーツをサポートするうえで、障がい特性に応じた留意点が説明できる。

《成績評価の方法》

実技 55%
授業の取組 45%

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

1 コマずつ講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

障がい者スポーツを楽しみながら授業への参加(授業の取組)
障がい者スポーツのサポート及び特性に応じた説明(実技)

《参考図書》

障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級) / (公財) 日本障がい者スポーツ協会 / [編] ぎょうせい

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習: 車いすの介助・視覚障がいの介助(30分) 復習: 全国障害者スポーツ大会について(30分)
2	視覚障がい者のスポーツ	予習: サウンドテーブルテニスとは(30分) 復習: パラリンピックの競技について(30分)
3	視覚障がい者のスポーツ	予習: ゴールボールとは(30分) 復習: ルールの理解(30分)
4	視覚障がい者のスポーツ	予習: フロアバレーボールとは(30分) 復習: ポジションの理解(30分)
5	視覚障がい者のスポーツ	予習: 前回の整理(30分) 復習: ポジションの理解(30分)
6	視覚障がい者のスポーツ	予習: 前回の整理(30分) 復習: 視覚障がいの特徴
7	肢体不自由者のスポーツ	予習: シットイングバレーボールとは(30分) 復習: ルールの理解(30分)
8	肢体不自由者のスポーツ	予習: 卓球バレーとは(30分) 復習: ルールの理解(30分)
9	肢体不自由者のスポーツ	予習: 車いすバスケットとは(30分) 復習: ルールの理解(30分)
10	重度障がい者のスポーツ	予習: フライングディスクとは(30分) 復習: ルールの理解(30分)
11	重度障がい者のスポーツ	予習: ボッチャとは(30分) 復習: ルールの理解(30分)
12	知的障がい者のスポーツ	予習: フットベースボール(30分) 復習: ルールの理解(30分)
13	障がい者スポーツの考案	予習: ふうせんバレーボールとは(30分) 復習: スポーツの考案について(30分)
14	障がい者スポーツの考案	予習: 前回の整理(30分) 復習: スポーツの考案について(30分)
15	障がい者スポーツの考案	予習: 前回の整理(30分) 復習: 障がい者スポーツを考える(30分)

《専門科目》

科目名	園芸福祉				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。				

《授業の概要》

授業形態は講義を基本とするが、園芸福祉の実際は演習を通じて行う。栽培を基本として植物を介して環境、教育、健康福祉まちづくりに関わっていくノウハウを学ぶ。

《教科書》

『園芸福祉入門』進士五十八・吉長成恭監修日本園芸福祉普及協会編

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小試験、レポートなどは採点し返却する。

《授業の到達目標》

植物を介した活動が人の心身に与える影響について理解する。
園芸福祉士合格レベルまで理解を深める。
園芸福祉士を目指す意義を理解する。

《成績評価基準》

レポート、課題の取り組む意欲と態度、提出状況
授業内容を網羅した筆記試験が6割以上であること

《成績評価の方法》

筆記試験80% レポート10%
課題10% 実技 %
授業の取組 %
その他 () %

《参考図書》

『園芸療法を探る』2000松尾英輔グリーン情報
『園芸社会学』1998ダイアン・レルフマルモ出版社株式会社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	教科書の序章を読んでおく 話を振り返りながら大事なところに線を引く
2	車椅子体験	体験したことを振り返る 用具の名称、使い方を整理する
3	第1章 園芸福祉の活動とは(1)	教科書p27から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
4	第1章 園芸福祉の活動とは(2)	教科書p41から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
5	第2章 活動を地域のなかに普及する(1)	教科書p63から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
6	第2章 活動を地域のなかに普及する(2)	教科書p80から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
7	第3章 コミュニティづくりに生かす(1)	教科書p93から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
8	第3章 コミュニティづくりに生かす(2)	教科書p118から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
9	第4章 植物をよく知り活用しよう(1)	教科書p133から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
10	第4章 植物をよく知り活用しよう(2)	教科書p159から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
11	第5章 誰もが楽しめるプログラム(1)	教科書p179から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
12	第5章 誰もが楽しめるプログラム(2)	教科書p198から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
13	作業分析の考え方と実践	園芸作業についてわかりやすく伝えるための方法について学ぶ ノートに整理して実践できる様にしておく
14	園芸福祉の実践例	実践例を見て自分の考えをまとめる
15	授業のまとめ	園芸福祉とは何かについて正しく理解し言葉で表現できるようにまとめる